

C

2025
JUNE
[第2041回]

ハリウッドへ渡ったウィーンのコルンゴルト

エーリヒ・ウォルフガング・コルンゴルト

Erich Wolfgang Korngold (1897–1957)

幼少期より音楽の才能をあらわし、マーラーに「天才」と言わしめたコルンゴルト。23歳にしてオペラ作曲家としての名声を手にしたが、第2次世界大戦中にナチス・ドイツから逃れてアメリカへ亡命すると、作曲の軸足はクラシック音楽から映画音楽へと移っていく。コルンゴルトはハリウッドでもその美しい旋律で大成功を収めたが、戦後、クラシック音楽の世界でふたたび彼への熱狂が戻ることはなかった。

映画音楽への影響

旋律の美しさ、管弦楽法の巧みさはもとより、映像に合った音楽ということにも気を配りながら作曲したコルンゴルト。その技術・芸術性は抜きん出ており、その後のハリウッド映画音楽の礎を築いた。『スター・ウォーズ』などの映画音楽を作ったジョン・ウィリアムズをはじめ、コルンゴルトの音楽は後世にも絶大な影響を与えた。



ウィーンっ子のコルンゴルト
ハリウッドに渡っても甘党一筋！
イラストレーション：©IKE